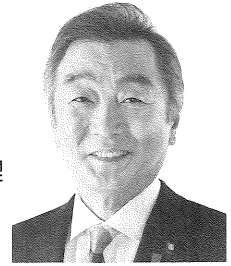


薬連ハイライト

年頭所感



自由民主党国会対策委員会委員長代理
衆議院議員

松本 純

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人日本薬剤師会並びに日本薬剤師連盟の皆様には、令和3年の初春をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応に終了した一年でした。日常生活や働き方までが大きく変わってしまいました。そのような中で、薬剤師の皆様には、国民の健康維持増進、感染症拡大防止のための身近な医療・医薬に携わる資格者として、専門家としての力を大いにはっきりいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

また、昨年2月の横浜港におけるクルーズ船の乗客に対して必要な医薬品を提供する対応が生じた際、多くの薬剤師の皆様が現地に派遣され、船内や船外で薬剤師同士が連携し医薬品を提供できたことは、まさにご尽力の賜物と重ねて感謝申し上げます。

さて、医療をとりまく環境が変化する中で、薬剤師の業務も多様化しています。今後は患者が様々な

療養の場を移り変わる中で、地域薬局薬剤師としては病院薬剤師との薬業連携も重要になってきます。

令和元年12月に公布された改正薬機法においては、薬剤師や薬局のあり方の見直しが行われ、本年8月から、認定薬局制度が始まります。認定薬局は医療機関と連携しながら、入退院時の連携や在宅対応を行う薬局（地域連携薬局）、専門的な薬学管理を行う薬局（専門医療機関連携薬局）があり、地域において薬局薬剤師と病院薬剤師が日頃から連携する関係をつくり、必要な薬物療法に関する情報共有を行っていくことが大切になります。法改正をきっかけにして、地域での連携をさらに活発に行い、患者さんの薬物療法の質の向上につなげていただようお願い申し上げます。

本年も、山本会長をはじめ日本薬剤師会並びに日本薬剤師連盟の役員並びに会員の皆様にとりましてさらに良い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

令和3年度年頭所感



情報監視審査会 会長
参議院議員

藤井 基之

新年明けましておめでとうございます。日本薬剤師会会員の皆様には、お健やかに新たな年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により社会生活や経済活動に大きな影響を与える一年となりました。新型コロナウイルス感染症は未だ拡大が続いています。日本は欧米程ではありませんが、収束への目途は立っていません。

菅新総理は、感染症対策や停滞する経済の活性化等、喫緊の課題に確実に取り組む姿勢を強調しました。そして、新型コロナウイルスワクチンについて、本年前半までに国民に提供できる数量を確保することを表明しています。一刻も早いワクチンの開発に期待するとともに、国民それぞれが3密の回避等、感染予防に引き続き努めていかなければなりません。

さて、昨年4月には診療報酬等の改定が行われました。そして、今年では中間年の薬価改定の最初の年に当たります。医療機関及び薬業関係者は、新型コ

ロウイルス感染症の影響により、薬価調査したとしても適正な市場実勢価格の把握は困難として、薬価改定の見送りを強く求めてきました。昨年9月の薬価調査結果は市場実勢価を適切に反映しているか、中医協等において十分な検証が行われ、適切な判断が示されるものと思われま

また、昨年9月1日に改正薬機法が施行されました。薬剤師が調剤時に限らず、必要に応じて薬剤の使用状況の把握や服薬指導することが義務とされ、テレビ電話等によるオンライン服薬指導の実施が可能となりました。オンライン診療・服薬指導について、行政改革・規制改革の実行やデジタル化の推進を重要政策に掲げる菅内閣は、その緩和の検討を進めていますが、いずれにしても、患者さんが安心して診療を受け、適正に薬を使用できる環境を整えていくことが、何よりも重要となっています。

貴会会員の皆様方の益々のご活躍にご期待申し上げます。

年頭所感



衆議院 厚生労働委員長
衆議院議員

とかしき なおみ

新年明けましておめでとうございます。

山本信夫会長をはじめ、会員の先生方におかれましては、健やかに新年をお迎えになりましたこと心よりお慶び申し上げます。

私は、昨年秋より衆議院の厚生労働委員長に就任し、ようやく厚生労働の最前線の仕事に戻って参りました。「人の健康を守る」という意味で、今まで携わってきた「環境」もライフワークとして共に取り組んで行きたいと考えております。

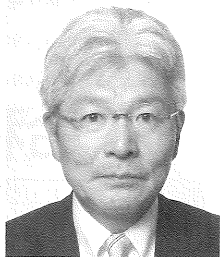
さて昨年は、予想もしていなかった新型コロナウイルスに脅かされた1年となり、薬剤師の先生方もその対応で非常に苦慮されたことと推察致します。

コロナ問題は感染拡大を何度も繰り返し、長期戦の兆しを見せています。

そろそろ目の前で起こっている状況に振り回されるのではなく、「今後の医療体制を変えていく機会」と前向きに捉え、次の一手を打つ必要性を強く感じています。その中で薬局・薬剤師は、立ち回り次第では大きなチャンスを手にするのではないのでしょうか。

例えば、来年始まるであろう新型コロナウイルスのワクチン接種のフォローアップを、薬機法導入後の薬剤師の仕事として位置付けていくことも可能です。また、コロナにより国民の健康意識は一気に高まりました。「予防」を指導する医療人がいない中、国民は自己判断で予防に取り組んでいます。この予防のジャンルを医療人として関わりあえる知識と経験を持っているのは、薬局・薬剤師においてほかにありません。「対人」のコミュニケーション力を高め、薬を使った治療だけでなく、予防でも職能を発揮できれば、薬剤師はさらに国民の信頼を得ることになります。薬剤師にとって大切なのは「恐れず取り組んでみる」チャレンジ精神を持つことです。Withコロナ・Afterコロナの時代、オンライン服薬指導など様々な新しい動きが出てきている今、現状維持をしようとするれば衰退につながってしまいます。薬剤師はチャンスの時を迎えているのです。私も薬剤師の国会議員として、時代の流れを先読みして、薬剤師の先生方がより挑戦できる環境を作れるよう今年も頑張ってお参ります。

年頭のご挨拶



衆議院議員

逢坂 誠二

明けましておめでとうございます。

山本信夫会長をはじめ、公益社団法人日本薬剤師会会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より、逢坂誠二の議員活動に対し、特段のご支援とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

立憲民主党は、昨年9月、150人の仲間とともに、新たな船出をしました。我が党は、立憲主義と熟議を重んずる民主政治を守り育て、人間の命とくらしを守る、国民が主役の政党であり、国民皆様のお役に立てるよう、全力を尽くして参ります。

さて現在、コロナ禍によって、国民生活のあらゆる部分に大きな影響が及んでおります。特に薬剤師、薬局関係者の皆様には、国民の命を守るため、感染のリスクもある中で、日夜、懸命に職務に精励され、本当に頭の下がる思いです。

コロナ感染によって、処方日数の長期化や受診控えも発生し、来局患者数が減っております。このため薬局の収入が減少するなど、薬局経営が厳しい状況となっております。こうした状況を受けて、昨年来、私は会派を代表して政府に対し、薬剤師や薬局への支援を繰り返し求めて来ましたが、政府の対応は必ずしも十分なものではありません。今後とも、新型コロナワクチンの薬剤師への優先接種をはじめ、政府に対して薬剤師、薬局への支援を積極的に求めると同時に、薬剤師の使命が確実に果たせるような様々な環境整備に引き続き努力を重ねて参ります。また薬剤師会の皆様が反対されている毎年度の薬価改定については、私も皆様ともに明確に反対して参ります。

この一年が皆様にとりまして、良い年となりますように心からご祈念し、年頭のご挨拶といたします。

新年にあたって



参議院議員・薬剤師

本田 顕子

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様のご支援により国政の場にお送りいただきから早くも一年半が過ぎました。この間、党務、政務に力一杯取り組んで参りました。国会におきましては、昨年8月の閉会中審査を含め5回の質問、また、10月に召集された臨時国会でも3回質問の機会をいただくことができ、薬剤師の立場から、その時々々の状況を踏まえて政府の見解をお聞きすることができました。

昨年の通常国会は、新型コロナウイルス感染症対策が中心的な課題となりました。4月には緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、支援対策として2度にわたる補正予算が組まれました。外出自粛や他県への移動自粛の要請等のため、外来患者の減少と長期処方増加等により、医療機関や薬局経営に多大な影響がでております。SNSを通していただくご要望を真摯に受け止め

させていただいています。厳しい状況はさらに続くものと懸念しておりますが、第二次補正予算による支援策をぜひ活用していただきますようお願い申し上げます。

我が国の社会保障を取り巻く環境は、少子・高齢化社会の進行を受けて大変厳しいものがありますが、国民の皆様の健康な生活を維持するためには私たち薬剤師の力が必要なことは誰も否定できないところであります。私も国政の場で薬剤師の声を発信して参りますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

さて、昨年日本薬剤師連盟の組織内候補に決定されました神谷まさゆきさんは、新型コロナ禍にもかかわらず力一杯の活動を展開しておられます。私も応援を続けていますが、全国の薬剤師の皆様のご支援もよろしくようお願い申し上げます。

最後に、本年が山本会長ほか日本薬剤師会の皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げ、新年にあたっての挨拶といたします。

神谷まさゆき副会長の新年ご挨拶等につきましては、下記コードからご登録いただき、ご覧ください。

1. Facebookページ『薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌』



3. 神谷まさゆきメールマガジン



2. 神谷まさゆきホームページ



4. 神谷まさゆき公式LINEアカウント

